

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容環境 Content of childcare (environment)		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理 教育実習事前事後指導などの教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
保坂里絵	授業中に指示します	火・水・金(授業時間は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
保育内容「環境」の原理・原則・意義を理解し、保育を実際に展開する上でより良い「環境」とは何かを常に考え実践・展開することを理解する。				
授業の目標				
①幼児期歩教育において「環境」教育の重要性を理解し、保育者として適切な環境構成が図れることができるようにする。 ②環境の中で最も重要なのが保育者自身の姿であることを自覚し、「環境」として適切なかかわりを図ることができるようにする。				
授業の方法				
基本的には、講義形式で行う。「調べる、考える学習」を重視し、ビデオ視聴観察や事例研究、グループディスカッションなどを行う。				
学習の成果(学習成果)				
①幼児教育が展開される上で「環境」の重要性を説明できる。 ②発達の時期や状況に応じて適切な環境構成ができる。 ③保育者も「環境」であることを自覚して適切なかかわりを図ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方について 受講に関する注意点について			
第2回目	保育内容「環境」の意義			
第3回目	保育内容「環境」と幼児理解			
第4回目	好奇心・探求心を育てる指導			
第5回目	思考力の芽生えを育む指導			
第6回目	人的環境としての友だち・保育者			

第7回目	物的環境としての園具・遊具・素材	
第8回目	自然環境としての動植物	
第9回目	日常生活のなかでの興味や関心	
第10回目	地域・行事とのかかわり	
第11回目	環境からみた道徳性の芽生えを培う指導	
第12回目	乳幼児期の安全環境	
第13回目	保育内容「環境」から見た実践的課題	
第14回目	環境を通して行う保育とは。試験	
第15回目	理想の環境から見た保育とは	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	出席や受講する態度、ノートのとめ方・授業で使われる教材準備など積極的に取り組んでいる。
レポート	20%	課題に対し詳細に探究し、内容構成がしっかりされ課題の条件が満たされている。（詳細については、ガイダンス及びその都度授業の中で説明する。）
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	講義内容に対して理解し、的確な回答が記述されているか。（詳細については、ガイダンス及びその都度授業で説明する）
発表内容（態度含む）	20%	調べたものに対し簡潔にまとめられ、興味関心が持てるような発表ができているか。
その他		
教科書と参考図書		
教科書	新保育ライブラリー「保育内容環境」 北大路書房	
参考図書	保育環境プランニングブック 幼稚園教育要領解説 文部科学省	
履修上の留意点・ルール		
目的意識をもって意欲的に授業に臨み、私語を慎むこと。季節や気温の状況以外は、飲食物の持ち込みを禁止する。		